

Kofax ReadSoft Process Director 7.6

Kofax ReadSoft Process Director™はSAPシステム内において、幅広いドキュメント主導でリクエスト主導のビジネスプロセスを処理するための、単一のプラットフォームを提供します。

このプラットフォームは、プロセスを指示するコントロールセンターとして機能するため、情報をSAPマスターデータや取引データと自動的に照合できます。情報の差異は早期に発見され、取引がSAPで完了する前に訂正されます。ReadSoft Process DirectorはSAP内に常駐しているため、慣れ親しんだSAP環境と連携させるか、あるいは直感的なウェブインターフェイスを使用するか、いずれかを選択します。

Readsoft InvoicesまたはKofax IP Agilityインテリジェントキャプチャソリューションと組み合わせて、ReadSoft Process DirectorはすべてのSAP財務プロセスを自動化しながら、SAP投資を最大化するよう支援する製品一式の一部となっています。

ビジネスの課題

- ◆ 不十分な可視性により、財務プロセスの制御が制限される: 財務プロセス全体で可視性が不十分なため、効果を測定し、キャッシュフローを管理し、リスクを評価することが難しくなります。
- ◆ SAPの外部で、多くのプロセスステップが発生しすぎる: SAPの外部でドキュメントやリクエストを手作業で処理するため、時間がかかり、ミスが起こりやすくなります。
- ◆ SAP内で取引を修正しづらい: SAPのプロセスの最後で請求書取引を後戻りするなど、ミスの修正は複雑で、時間を要します。
- ◆ 様々な自動化ツールにより、ビジネスが一層複雑になっている: 別のアプリケーションを使用して、異なるビジネスプロセスを自動化した結果、全く異なる情報や複数のログインが生じ、アプリケーションが多すぎて理解や維持できません。

利点

- ◆ 多くのプロセスで1つのソリューション: ビジネスユーザーとオペレーターは、単一の処理ポイントを使用して、多種多様な業務を実行し、すべてのプロセスの概要を把握し、制御と透明性を向上させます。
- ◆ ミスを早期に発見し、修正: プロセスの早期に問題を解決することで、時間と労力を節約します。
- ◆ 処理を簡素化し、生産性を向上: SAP標準で扱いにくいプロセスを簡単に処理し、スタッフがプロセスの評価やフォローアップなど、より価値のある業務に集中できるよう、時間を解放します。
- ◆ SAPユーザーもユーザー以外にも使いやすい: 直感的なウェブインターフェイスを使用する、または慣れ親しんだSAP環境で作業できることにより、ユーザーの導入が迅速化し、その結果、企業ポリシーと手順のコンプライアンスが向上します。

- ◆ 低総所有コスト(TCO)ですぐに使えるソリューションを提供: 既存のSAPインフラストラクチャを活用し、迅速な展開を実現し、SAPの変更は必要ありません—トレーニングおよびサポート要件を最小限に抑えます。

特徴

- ◆ 単一のプラットフォーム: 購入から支払いまで、受注から入金まで、記録から報告まで、その間のすべてのプロセスについて、プロセス自動化を統合し、複数のSAPインスタンスとの統合をサポートします。
- ◆ 拡張性のあるドキュメント管理: ビジネスプロセスに関連し、コンテンツ管理システムから、索引付きコンテンツにアクセスします。
- ◆ SAP内のコンテンツに接続: スキャンされた画像など、添付ファイルを保存し、ArchiveLink有効なコンテンツリポジトリとリンクさせます。
- ◆ シンプルな構成: ドキュメント主導でリクエスト主導のプロセスを指示するための、事前に定義された論理を使用して、具体的なプロセスを処理します。
- ◆ 密接なSAP統合: SAP認定プラットフォームとして、Process Directorは既存のSAPインフラストラクチャ、標準SAPインターフェイスおよび論理を再利用します。

技術仕様

SAP製品

- ◆ Process Director
- ◆ Work Cycle
- ◆ EDI Cockpit
- ◆ Supplier Portal
- ◆ Mobile Approval App
- ◆ Info Mail

ReadSoft Process DirectorはSAP内部で実行され、SAPインターフェイスおよび(または)Process Directorウェブブラウザインターフェイスを通してやり取りします。

Work CycleはReadSoft Process Director内でワークフローエンジンを提供し、関連するビジネスプロセスが適切な人と関連づけられるようにします。

ReadSoft Mobileは、モバイルデバイスでワークフロー承認業務の管理をサポートします。

EDI Cockpitは、EDI有効プロセスへの電子的な入口となります

グラフィックなユーザーインターフェイスの多言語対応

- ◆ チェコ語
- ◆ フィンランド語
- ◆ イタリア語
- ◆ ポーランド語
- ◆ Dランダ語
- ◆ Fフランス語
- ◆ 日本語
- ◆ ポルトガル語
- ◆ E英語
- ◆ ドイツ語
- ◆ ノルウェー語
- ◆ スペイン語
- ◆ 中国語(簡体字)

買掛金 (AP) 請求書処理も以下の言語で利用できます。

- ◆ デンマーク語 ◆ ハンガリー語 ◆ トルコ語 ◆ ルーマニア語
- ◆ ロシア語 ◆ スロバキア語 ◆ スロベニア語 ◆ スウェーデン語

関連するSAPリリース

- ◆ SAP ERP 6.0 (ECC6からEhp8まで)
- ◆ SAP S/4HANA 1511 (PD 7.5またはPD 7.4 SP2付き)
- ◆ SAP S/4HANA 1610 (PD 7.5 SP1またはPD 7.4 SP3付き)
- ◆ SAP S/4HANA 1709 (PD 7.6, PD 7.5 SP3またはPD 7.4 SP5付き)

ReadSoft Process DirectorはSAP標準とは厳格に区別され、SAPシステムの変更は必要ありません(認定された ABAP Add On)。

ウェブアプリケーションサーバの要件

Javaバージョン:

- ◆ Java Runtime 6(最小)
- ◆ Java Runtime 7-8(推奨)

ウェブアプリケーションサーバ- 以下に関して、100% J2EEに対応

- ◆ Java Servlet 2.4
- ◆ Java Server Pages JSP 2.0
- ◆ SAP Java Connector (JCO3推奨)

推奨されるサーバ

- ◆ Apache Tomcat 8.5.x ◆ Apache Tomcat 9.0.x

オペレーティングシステム

- ◆ 以前にリストに含まれた、他のソフトウェアコンポーネントによりサポートされるオペレーティングシステム
- ◆ Microsoft Windows XP ◆ Microsoft Windows 2003 Server
- ◆ Microsoft Windows 7 ◆ Microsoft Windows Server 2008 R2

プロセッサの速度

- ◆ 2.0 GHz以上
- ◆ RAM -同時に実行される1つのユーザーセッションにつき30 MB
多くのユーザーが並行して作業する場合、最低4 GB RAMを推奨します。

ハードドライブ

- ◆ 100 GBの空きスペース

Kofax ReadSoft Process Directorについて詳しくは、kofax.jp をご覧ください。